

「これから先には? ... 聖書預言との照合」2020.05.24

<https://www.youtube.com/watch?v=1-T2mYFbnuc>

ではさて、おはようございます。ようこそ～。画面にあるように、私たちは正式に発表できることをとても喜んでます。私たちは、次の日曜日5月31日、ペンテコステの日曜日から教会を再開するのです。...皆さん拍手しましょう。因みにここには、参加者がおられます。...(拍手喝采～♡) まだ誰にも言わないように～遅すぎますね。ああ、素晴らしい。ちょっと落ち着きを取り戻しますね。あ～(涙)皆さんの忍耐に感謝したいと思います。私たち全員にとって困難でしたから。皆さんもですね。私たちはこの危機を乗り切ってきました。私はそれを危機と呼んでいます。私がこれをパンデミックとは呼ばない理由は皆さんもお分かりでしょう。今私たちは、少し変更点を加えます。ここにいる方々は、入って来た時にメモを受け取ったはずです。受け取られてない方は、帰り際に、受け取ってください。昨日私は、このメモを書きました。これからの変更点の説明が書いてありますが、今後の状況をみながら、進めていきます。ただ最初の変更点とは、食べ物と関係があるので非常に重要です。少なくとも当分は、食べ物は禁止です。でも飲み物はキッチンで用意します。ですから、今日の礼拝の後はそれで交流を深めたいと思っています。私たちは、主の御心であれば、ここ「カロリーチャペル」で持ち寄りの食事会を再したいと願っています。しばらくは「カロリーゼロ・チャペル」になりそうですね。では礼拝時間について話しましょう。今週の木曜日の午後7時から週中の「聖書の学び」を始めるつもりです。ライブ配信は、午後5時からでしたが、しかし、それを7時、元の時間に戻すつもりです。今週の木曜日、5月28日には、主の御心ならば、「箴言」の学びを再開します。私たちは28章までで中断していましたので、29章から再開します。それが今週の木曜日です。そして次の日曜日、5月31日は、午前8時30分～と午前10時45分～の両方の、朝の礼拝を再開します。しかし、非常に重要な点に注意してください。午前8時30分～の礼拝は、「預言アップデート」のみとなります。そして午前10時45分～の礼拝は「聖書の学び」になります。私たちは、前に中断していた個所から再開します。第二テサロニケの第1章がほぼ学び終わっていました。

ですから、それが次の日曜日からです。さて、どうしてそのようにするのか、説明しようと思います。というのは、、、実際、「リスクが高い」とされる方は、教会に来るのは控えた方がいいでしょう。ご自宅でライブ中継をご覧になることをお勧めします。ライブは、「預言アップデート」は午前9時から、「聖書の学び」は11時15分からです。その理由は、賛美で始めて、いくつかアナウンスをして、それから教えを開始するからです。9時からオンラインで「預言アップデート」、11時15分からオンラインで、「聖書の学び」。その理由は、YouTubeで賛美を公開すると、収益化して、私たちの動画に広告をつけようとする人たちがいて、よろしくありませんから。それは腸が煮えくり返るんです。なので賛美の部分は含めません。ところで、お問い合わせ下さった皆さん、私たちは再度それに取り組んでいて、いつか、礼拝全体をライブ配信できるようにしたいと考えています。私たちは動画の収益化や、広告掲載を防ぎながら、そうするための方法に取り組んでいます。特にYouTubeに関して。動画を見る人の大半が、YouTubeを使って見ておられるので。繰り返しますが、次の日曜日、預言アップデートのライブ配信は、従来通りの9時から始まります。それから、書から書へ、章から章へ、節から節への聖書の学びは第二テサロニケ1章に入ります。そして、そのライブ配信は午前11時15分から開始します。地元の皆さん方は、両方の礼拝に参加されることを歓迎します。

スペースは十分にあると思います。

重ねて言いますが、多くの方が、自宅におられるからです。また、オンラインで預言アップデートを見て、第二礼拝に来られる方もおられるかもしれませんし、また逆に、第一礼拝に来て、聖書の学びをオンラインでご覧になる方もいるでしょう。ということで、そうしてみる事にしました。また木曜日の夜は、夜7時から週中の聖書の学びをし、夜7時30分からライブ配信します。旧約聖書「箴言」です。それから私たちは「祈祷会」も再開するつもりです。毎月の第一火曜日です。ですから次回の祈祷会は、6月2日(火)午後7時からです。そして、7時30分頃にライブ配信します。それから、聖餐式を日曜日の朝ではなく、木曜日の夜に実施することにします。ですから毎月第1木曜日が、聖餐式です。つまり、次の聖餐式は、6月4日木曜日です。男女別の聖書研究については、近々、予定を発表します。ウェブサイトのカレンダーにアクセスし、「イベント」タブに進めると、ずらっとご覧になれます。カレンダーを選択されると、予定の更新をご覧いただけます。始める前にもう一つ、戦没将兵記念日に関するのですが、この特別な週末に、私たちは究極の犠牲を払った方々を覚えます。そのお陰で、今日再びこうしているように、私たちには礼拝する自由があります。敢えて言わせていただきますと、私たちはそれを当たり前のように受け止めがちですが、ここ数か月で気づいたことと思います。私の希望は、この戦没将兵記念日の週末に、私たちがそれを心に留め、感謝し、私たちがこの2ヶ月余り、持てなかった礼拝の自由を決して当然だと思わない事です。繰り返し、今日ここにいる皆さん、ようこそお越しくださいました。私が皆さんに会えて、どれほど嬉しいか皆さんには分からないでしょう。私は皆さんを愛しています。皆さんに会えなくてとても寂しかったです。ところで、皆さん、皆さんは本当に最高♡です。オンラインで参加くださってる方々、皆様も歓迎します。では、今日の預言アップデートを始めて行きましょう。「これから先は...?」という問題を上げたいと思います。速やかに変化が起こっていますから。特に、ロックダウン後の再開に関して お話しします。そうするために、これまでに上げてきた現段階までの多くの預言的展開をお話することが有効だと思います。というわけで、まず簡単な復習をします。これを行うことによって、今日話したい事に即、全力で取り掛かれましたらと願います。3月29日、私たちは緊急の預言アップデートを行いました。その時、私たちは、どのように、またなぜ、この危機が最終的に、教会携挙、反キリストの出現、7年間の患難につながる可能性があるかを調べました。要するに、その順番で、です。それが3月29日でした。4月5日、私たちは具体的な疑問をいくつか取り上げ、もちろん聖書的な回答をしました。この世界的な危機に関する疑問ですが、その主要な物は次の通りです。これが携挙や7年の患難につながらないとしたら？ ちょっとそれを覚えておいて下さい。またその問題に戻りますから。4月12日は、復活の日曜日で、「過越の預言」を再度学びました。それはイエス・キリストの初臨によって成就されました。イエス・キリストの十字架刑と復活です。その際、私たちはエジプトの災いと、イエス・キリストの再臨時における患難時代の裁きとの間に、驚くべき類似性を見ました。何がそんなにすごいかと言うと、その予型です。もう少しお話しさせてください。エジプトについての予型ですが、エジプトは世の縮図であり、驚くべき予型的解釈は、患難時代にこの世を襲う数々の災いは、その当時エジプトに下された災いによって実際に預言されているのです。4月19日、私たちは、この世界的な危機がどのように、またなぜ、世界秩序全体を再構築し、再設定さえし、新世界秩序(NWO)の到来を告げるのか、その現実の可能性に目を向けました。その理由は、現在の状況として、政府の崩壊、経済の崩

壊、宗教の統一が 起こっているように見えるからです。この危機のために、その全てが、こうしている間にも進んでいるように見えます。4月26日、私たちは、このすべてが どこに向かっているのかについて話しました。つまり、事前に計画され、事前に準備された策略の実行です。理由があってそのような言い方をしています。やはり、皆さんは理由をご存知だと思います。事前に仕組まれ、計画され、予定された策略で、実際には何年も何年も前から準備されていました。具体的には、「ID 2020」という策略。それって何でしょうか。はい。世界中のすべての人、全人口に、普遍的なデジタルIDを作成する計画です。それなしでは、管理下にある人々は、商品やサービスを利用することが出来ない。人口管理について話す上で、理解すべき事は、それは人口を減らす事だけが目的ではない事です。それはビル・ゲイツ財団の計画であり、優生思想運動から来ています。人口を減らすことだけが目的ではありません。人々を追跡し、管理する事が目的です。5月3日、私たちは、この時までには、本当は何が起こっているのかを見ってみました。これは実際にはどういう意味があるのか？それと言うのも、多くの人が物事の辻褄が合わない、という事実気づき始めていたからです。それは、第二テサロニケの2章に記されている、不法の惑わしという痛烈な現実を浮き彫りにしました。使徒パウロが語るように、それは既に働いています。5月10日になって、この時点で私は、預言的観点からも、よく言われる所の 帰還不能点を通り過ぎてしまったと感じ、以前のような生活に戻ることはもうできないと感じました。この時点で語り口が変わりました。通常に戻るための条件は、もはや グラフの曲線を平坦化する事ではなくなりました。すべてが変わりました。重ねて言いますが、語り口、通信の仕方は事前に計画されていました。私たちは、昨年10月18日に、ニューヨーク市で開催されたイベントについて話しました。この事態が起こり始めるほんの数週間前です。実際にインターネットでこの討論会のビデオをご覧になれます。その主催者はビル&メリンダ・ゲイツ財団、世界経済フォーラム、ジョンス・ホプキンス大学です。それは「架空のコロナウイルスパンデミック」の模擬実験でした。皆さんビデオを視聴できます。前回見たら、まだ公開されてましたから。彼らはこの台本を持っていて、台本通りに進めていたのです。

どのように、通信を管理するのか？ どのようにソーシャルメディアを管理するのか？ 誤った情報は？ どのようにするのか？ 移動は？ それらがすべて繋がって、非常に明らかになりました。

その時点で、私たちはその地点を通り過ぎてしまったと。そして、語り口が変わりました。今や、「ワクチンが出来るまでは、正常に戻ることは出来ない。」そうやってさえ、「新しい通常」になるでしょう。皆さんこれを聞いておられますか？ つまり、驚くべきは、それって、まあ。。。何というか、、、今日は話したいことがたくさんあります。先に進まないで、正午までここにいてください。皆さんさえ良ければ、構いませんけど。先週5月17日、特に濃いアップデートでした。私たちは、「接触追跡」として知られるものによって「何がやって来るのか？」を詳しく見てみました。またもや台本通りです。それから、HR 6666。それは下院決議案でその番号がついています。これは実に、全員検査、連絡、接触のための法案です。TRACE ACT(追跡法)です。検査、連絡、接触、全ての人に、の頭字語の T-R-A-C-E。

(Test Reach And Contact Everyone)複数の友人から電話や、メールを貰いました。日曜の預言アップデートの直後に追跡調査員からの電話を受け出したそうです。どうやって知ったんでしょう？ どうやって分かるのか？ 私は、「う〜〜〜!!!」と言いました。雇用が進んでます

よ。検査、連絡、接触を すべての人にするのです。私の息子は、大学の夏休みで、 火曜日に飛行機でカリフォルニアから 戻って来ました。そして、彼は14日間、自己隔離する必要があります。彼のために祈ってやって下さい。 いや、私たちのために祈って下さい。彼は気が狂いそうになっていて、 私たちまで気が狂いそうになってます。空港に着くと、もちろん、 彼らは息子の体温を計ります。そして、彼らは息子の情報を集めます。私たちは、息子が家で隔離されているか、 電話で確認されると言われました。案の定、2日後に最初の電話がかかってきました。「隔離していますか？」 「はい！」

「何か症状はありませんか？」 「いいえ！」もうドアがノックされるのを待っていますが、来なければいいなと思います。しかしこれは、そう言う事なんです。検査、連絡、接触を全ての人にする。これが私が言うところの「追跡と競走」です。超高速作戦という旗の下、 ワクチンの義務化に向けて。それがこんにち、 私たちがいるところで、これがまさに数ヶ月先に来るものであると 私は提案させていただきます。水曜日、フォーブズ誌が 次のような 最も興味深い記事を掲載しました。「COVID-19の救済には、 ワクチン義務化が含まれるかもしれない。」その中で、先週初めにインタビューを受けた、 アラン・ダーショウィッツの発言を引用しています。 お聞きください。「予防接種を拒否した場合、国家は文字通り あなたを診療所へ連行し、 あなたの腕に針を突き刺す権利がある。」 —引用終了—

素敵な午後も経過してください。私は実際にそのインタビューを見ました。 YouTubeにあります。私は大変驚愕しました。私は、自分が正しく聞いた事を確認するために、 それを聞き直さなくてはなりませんでした。事実、、、因みに幾人かのオンラインメンバーに感謝します。私がビデオを一時停止、入力、書き起こし、、、 する必要はないと教えてくれました。一部のYouTube動画に、 画面下に3つの点（・・・）があり、それをクリックすれば、 書き起こしが見れるんです。ああなんと素晴らしい。 何時間も節約できました！！ああ、素晴らしい。本当にありがとうございました。私が言いたいのは。。。 それはとても手間がかかるんです。...つまり、3語で、一時停止、 また3語で、一時停止、、、 とにかく、私の問題はもういいでしょう。だから、その事を教えていただき どうもありがとうございました。私はそれを何度も何度も見ました。その後、その書き起こしを出し、 それをコピーし、そして。。。私は自分の目でそれを読んだんです。そのインタビューから皆さんに、 次の引用を共有したいと思います。ダーショウィッツ氏です。

「この問題をどのように打破するか 明確にしましょう。あなたが反対しても、国民を危険にさらして 病気を蔓延させる憲法上の権利は全くありません。予防接種を受けない権利はない。マスクを着用しない権利はない。事業を再開する権利はない。」

それに対し、インタビュアーの ジェイソン・グッドマン氏は... 私は一番いいスクリーンショットを撮れるように、 ちょっと時間をかけました。なんということ！ インタビュアーのジェイソン・グッドマンの 表情ときたら…彼はこんな顔で... 目がフォルクスワーゲンのように大きくなって…私が撮ったスクリーンショットでは、 彼がこんなになっていて「ストップ！ちょっと、、、え????」彼の口から出たのは、「待ってください。お話しを止めていいですか？」 「予防接種を拒否する権利がないということは、 予防接種が義務づけられたら、」「私たちは予防接種を受けなければいけないと??」すると、ダーショウィッツの返事は 「間違いなく。」 引用しています。

「予防接種を拒否した場合、 国家は文字通りあなたを医者に連れて行き、 あなたの腕に針を

刺す権利がある。」彼は「代替案は、、、」と続けます。「あら、代替案があるんですか？」
「はい。」それが何かご存知ですか？ ダーショウィッツによると、、、 さあ言いますよ～
「もう一つの選択肢は、家にいて、予防接種を受けず、絶対に家から出ないことだ。...しかし、他の人と交わりたいと思うなら、...憲法は自分の病気を他人に広める権利を与えていない。あなたは反対しても構わない。...反体制者になってもいいが、あなたに言えない事は...」この引用を大変注意深くお聞きください。「...『私はファウチ博士に同意しない。...法を私の手中に収め、病気を広めよう。』

...それは憲法上の権利ではない。」彼の良いところは、「判例法」の前例を引用している事ですが、それには異議を唱えることができるでしょう。なぜなら、その前例はワクチンの義務化ではなかったからです。それは、ワクチンを拒否した際の、罰金の支払いでした。それが彼らが参照した1900年代初頭の法律の引用判例、前例です。さて、グッドマンは想像通り...それを予期してはいませんでした。彼はこのスクリーンショットを出します。明らかにインタビューの後にそのビデオは編集され、彼はこれらの写真や画像をYouTubeの動画に挿入しています。なので彼は、このショットを出し、ダーショウィッツにこう言いました。「私たちは医学と法律の分野をごっちゃにしています。...法律上の証拠は、医学上の証拠とは大きく異なるようです。...この国の、ワクチンの将来について助言している人たちの多くは...主要な国々から追い出されたのと全く同じ人たちです。...彼らが有益であると考えたワクチンの結果として生じた、重大な過失や傷害が原因です。...私は心が大変騒いでいます。」これはインタビュアーのグッドマンの話です。

彼は「私は心がとても騒いでいる」と、ダーショウィッツに言います。「あなたが提案しているものの合法性について。...なぜなら、私たち全員が予防接種を受けなければならないという政府命令に非常に近づいているように思えるからです。」まるで彼がダーショウィッツに逃げ道を与えているようなものです。取り消せ、撤回しろと。「そんなこと言ってないね？」
「いやそう言った。」ダーショウィッツはそれに対し、何と言うでしょう。引用します。

「COVID-19に対する安全なワクチンが開発されたら、政府に義務化してほしいものだ。...義務化してもらいたい。...私はそれを擁護し、あなたの見解に反論して、米国の最高裁でそれを主張する。」木曜日、デル・ビッグツリー氏がYouTubeチャンネルのHighwire Talkでダーショウィッツとの待望のフォローアップインタビューを行い、彼の発言についての説明を求めました。

「私が興味を持っているのは、...今の段階で、そのような義務化から除外されるべきグループはありますか？...今、前もって、あなたがこんな風に言える人たちはいますか？...『あなたを病院に連れて行って、腕に針を刺せる』と言った時、...私はこの特定のグループのことを言ったわけではない、と？今あなたの考えでは、そのシナリオに当てはまって、免除される人たちがいますか？」ダーショウィッツがこう答えます。「まず、あなたは免除されるべきではないと言っておきましょう。...宗教を信じ、宗教的に異論のある人たちは、...免除されるべきではない。理由は二つ。...まず、宗教的な反論はナンセンスです。...クリスチャンもユダヤ人も宗教的には何の反論もできない。...聖書を見なさい。（私は見ました。）...トーラ（見ました。）、旧約聖書、ユダヤ教の聖書。...伝染病感染者への対処法について書いてある章が何章もあるではないか。...ツアラアト患者を壁の外に出すよう要求している。...その人物が他者に伝染す可能性があるかどうかを判断するための様々な描写があり、...「命を選ぶ」という聖書の

概念は、中絶反対の言葉としてクリスチャンがよく引用するものだ。...だが確かにキリスト教の神学、ユダヤ教の神学、イスラム教の神学は...」ああ、これでみんな同じ土俵で同じレベルなんですね。皆、同じ神に祈っているんですね。皆さん、それがどれほど ”巧妙“ であるかわかりますか？

「...モーセ系の宗教、アブラハム系の宗教は、すべて、命を好むことを支持している。...故に、宗教上の理由で、法律上の他の義務から免除しないのと同様に、宗教上の理由で誰かを免除したりはしない。」ビックリして息を呑みますよね。ひと息つかせて下さい。では、ここで、今日私がこの事を取り扱おうと思った理由を説明します。私に言わせれば、それは、この危機が始まって以来、私たちが話してきた事をさらに裏付けるからです。次のように言うと 過度の簡略化となる危険性がある事は 承知しています。しかし、この事前に仕組まれた危機は、最終的に、

将来のある時点で、誰もが”ワクチン義務化”に遵守している事を 証明せねばならない事に繋がるでしょう。それは来ようとしています。いつなのかは分かりません。正確にどのようにしてかは、分かりません。しかし、私たちが聖書から知っていることは、世界的な指導者が、世界の人口を管理する事。世界政府、世界経済、世界統一宗教を通して。黙示録にある通りです。ありがたいことに、私たちがこれまた 聖書から知っているのは、イエス・キリストの教会は、7年間の患難が始まる前に 携挙されねばならないという事です。反キリストは、教会携挙までは、出現することはできません。「まあ牧師先生、失礼ながら、私は反対です。」 「いいですよ。」 「なぜそれについてそんなに独断的なのですか？ なぜそんなに断固としているのですか？」 「ああ、尋ねてくださって とても嬉しいです。」 「あなた、尋ねましたよね？」 答えましょう。イエスについて話しましょう。いつもそこから始めるのがいいですよ。過越の預言の話をする時、私たちが親しみを込めて「最後の晩餐」と呼ぶ席で、イエスは、花婿が花嫁に語るように、弟子たちに語りかけています。それが婚約の儀式です。杯とパン。彼女が杯を受け取ると、それは 「はい、私はあなたと結婚します」と 言っている事になります。そして、新しく結ばれ、その血で封印された 結婚の契約を持った花婿は、父親の家に行き、花嫁のための部屋を建てます。彼は場所を用意します。その場所に、彼は戻って来て、花嫁を迎えに行き、そこに連れて来て、婚姻を成立させて祝うのです。どのくらいの期間だと思いますか？ 7(日)という期間。完全数です。ある人が的確に言ったように、この世が患難中、私たちは祝宴中なのです。7年間。

「わたしが行って、あなたがたに場所を用意したら、…」 (ヨハネ 14:3)

彼は花婿として花嫁に話しているのです。その7という期間の後、花嫁と花婿は、用意されたその婚礼部屋から出てくるのです。ところで、用意ができた時、父親だけがその時を知っているんです。「時間だ。」彼らはラッパを鳴らします。因みに、ラッパといえば、補足的に言わせていただきます。ラッパに関して悩む人が多いですから。ラッパは2つあります。神のラッパ：教会のため。そして御使いのラッパ：イスラエルのため。どうか、その区別をお願いします。最初のラッパは、イスラエルのため、最後のラッパは、教会のためです。第一テサロニケ4章17節では、使徒パウロが… なお、これがあなたの答えです。私の様に好戦的にならないでください。

私はとても好戦的なので、気を付けてるんですが。でも誰かが 「携挙という言葉は聖書にありません。」なんて言う時、こう言えばいいんです。「ラテン語の聖書には、あるんです

よ。」

第一テサロニケ第4章17節には、ラプトロスという言葉があるからです。それは音訳するとラプチャー(携挙)です。ギリシャ語では「ハルパゾ」。英語で「Caught up/引き上げられる」です。迅速な力で。瞬く間に。それが携挙です。第一テサロニケ4章17節。

「それから、生き残っている私たちが、...」 (第一テサロニケ 4:17)

神のラッパが鳴り響くと、私たちは引き上げられるのです。

「...そしてまず、キリストにある死者がよみがえり、それから生き残っている私たちが、(彼らと一緒に雲に包まれて引き上げられ)、...」

そう語った後、皆さんパウロが何と言うかご存知ですか？

「ですから、これらのことばをもって互いに励まし合いなさい。」 (第一テサロニケ 4:18)

想像できますか？もし教会が患難を経験せねばならないとしたら？あるいは、携挙が患難時代の中間地点だったら？「人口の3分の1が患難中に死にます。恐ろしい、言い表せない恐怖だ。励まし合いなさい。お互いを励まし合いなさい。」それは理に適いません。脱線してしまいましたね。7年間。黙示録1章19節、ある人がそれを「神による概要」と呼びました。

「あなたが見たこと、今あること、この後起ころうとしていることを書き記せ」(黙示録1章19節)

とヨハネが命じられた時、「この後」とはギリシャ語で「メタタウタ」です。言い換えれば、「ヨハネよ。わたしは啓示を与えよう。」それはギリシャ語の「アポカリプシス」で、英語のアポカリプスの語源です。お披露目＝明らかにするという意味。ベールを取り除き、明らかにする事です。分かりますか？深いでしょ。「ベールを外すこと、(公開)」それは何が起こるかの啓示なんです。

ヨハネはイエスから、過去・現在・未来を書き記すよう命じられます。1章：過去ヨハネは、イエス・キリストが十字架につけられ、よみがえり、そして栄光を受けて、御父の右に座されたこと目の目撃者です。過去です。2章と3章：現在。それが私たちが今いる時代です。7つの教会宛の7つの手紙。再び、7という数。ところで、3章のフィラデルフィア教会は、イエスはヨハネに、この教会に、次の通り手紙を書かせます。

この教会はイエスのことばを守り、彼の名を否みませんでした。(黙示録 3:8)

「地上に住む者たちを試みるために全世界に来ようとしている試練の時には、わたしもあなたを守る。」(黙示録 3:10)

それが7年間の患難です。だから、2章と3章は教会の歴史です。教会時代。現在です。4章1節からは、すべて未来です。4章1節、ヨハネは、ラッパの音で「ここに上れ。」と言われます。4章1節から先は、すべてが未来です。これが携挙です。そして、6章から19章は、7年間の患難時代の、恐怖と裁きのすべてについてです。20章は千年王国です。21章と22章、新天と新地。永遠：未来。神による美しい概要です。ああ、ところで、もう一つ。私はたくさん、もう一つのものを持っています。皆さんがいなくて本当に寂しかったんですもん。黙示録1章3節、

「この預言のことばを朗読する者と、それを聞いて、そこに書かれていることを守る者たちは、幸いである。」(黙示録 3:3)

聖書全体の中で唯一、これを読む人、聞く人、心に留めておく人に祝福を約束する書です。未

来がどうなるか、誰が未来を握っているのか 知りたいですか？ それは黙示録にあります。要点はこれです。そしてこれが、携拳は7年間の患難前に 起こらなくてはならない理由です。よろしいですね？ 「教会」という言葉は、1章から3章で 19回登場します。4章1節からは、すべて未来です。ヨハネが、「ここに上れ」と 引きあげられました。これらの事後(メタタウタ)に 何が起こるかを見るために。これが4章1節。その後、「教会」という言葉は 何回書かれていますか？

6章から19章の、7年間の患難時代には？ 6章から19章に、「教会」という言葉は 何回出て来ますか？ ゼロ！ 6章から19章の患難時代に、「教会」という言葉がない理由は何ですか？ 教会は、患難時代にいないからです。患難時代の目的は、ユダヤ人国家の救いのためです。だから、教会はそこにいないんです。「ほ～、牧師先生、ちょっと待ってください。」患難時代に、獣の印を受けるのを拒否したために 斬首されてしまう人たちはどうなのでしょう？ヨハネは尋ねました。 **「これらの人々は誰ですか？」 (黙示録 7:13)** それは花嫁ではありません。彼らは親しみを込めて、患難時代の聖徒と 呼ばれています。つまり、彼らは7年間の患難時代の間に救われるのです。では、皆さん、安心してため息をついて、「ああ、よかった」と 次のように考える前に...「仰る通りに起こるとして、携拳が起こり、あなたが連れ去られても、私にはまだチャンスがある。」何とも言えません。説明しましょう。あなたは何をもって、患難の中で イエス・キリストのために死んでもいいと、 思えるようになると思うのですか？ あなたが患難前に、イエス・キリストのために、 生きるつもりがないのなら。意地悪く言うつもりはありません。妻は私を意地悪だと言いますが、 私は意地悪ではありません。真実です。それが真実です。患難時代にもまだ救われます。私たちは天国で彼らに会うでしょうが、 彼らはイエスと一緒に御座にはいません。これらの人々は、御座で仕えています。彼らは婚姻の祝宴における花嫁ではありません。彼らは、婚姻の祝宴の客です。私たちは花嫁です。男性にとっては、妙な話でしょうが、「俺は男だ！」 「いやいやあなたは花嫁です。」それがいいですよ。本当です。変だとは思いますが、ヨハネは、天国では私たちは肉にしたがって 人を知ることはないと言っています。元気を出して下さい。何の話でしたっけ？ 非常に深遠な指摘をしていたのですが、、、あ！なぜ携拳は7年間の苦難の前に 起こらねばならないのか？ですね。予型論について話しましょう。私はいつも旧約聖書の予型論的解釈に とても魅了されてきました。旧約聖書には、新約聖書が明らかにするものが 隠されていると言われていました。ところで、、、 今日もまた「ところで」がたくさん出ますが、聖書の最初の預言は 創世記3章15節に見られます。それは原福音の預言です。処女降誕で救い主が来る。その女の子孫(種)が、蛇(サタン)の頭を砕く。それが、イエスが処女から生まれる預言。創世記3章15節が、聖書の最初の預言です。ところで、聖書全体の3分の1が預言です。では、予型というかたちで 旧約聖書にある携拳について話しましょう。キリストの予型であるヨセフについて話しましょう。彼は、世の縮図であるエジプトから、7年間の飢饉の前に、異邦人の花嫁を得ます。ところで、私は手の合図に 注意する必要があるのです。ある時、私はシャカのジェスチャーをしたら、誰かが「悪魔のしるしだ」と言いました。皆さんが家から出られなくて 礼拝に来れなかった間に、何があったか聞かれましたか？ 動画の締めくくりに、「神の祝福を～アロハ。」と言ったんです。「ありがとう、アロハ。」と言ったのに、来たコメントが、「ありがとう。アッラー。って言った？」 ですよ。「違います！アロハです。アッラーではありません。」と にかく、私は指と手に注意しています。ヨセフは7年の飢饉の前に、異邦人の花嫁を取り、そし

てそれ以来、彼女のことは一度も記述されていません。それは教会、つまり イエス・キリストの花嫁の予型です。7年の飢饉の前に。早送りしましょう。ノアについて話しましょう。「さあ、箱舟に乗ろう！」と考える人たちが大勢います。でもノアは教会の予型ではありません。ノアはイスラエルの予型です。エノクが教会の予型です。だから、ヨセフが飢饉前に、異邦人の花嫁を得ます。ちなみに、ユダヤ人は7年の飢饉の真っ只中で救われます。イスラエルの予型のノアが洪水の真っ只中で救われたのと同じように。興味深い詳細が、創世記7章(1-4節)だったと思いますが、ノアは雨が降り始める前に7日間、家族と一緒に箱舟にいます。エノクは5章。洪水前です。ですから、飢饉前があり、今度は洪水前です。もっと良くなりますよ。もうすぐ熱炉前のことを話します。洪水前、

「エノクは神と共に歩み、… 彼はいなくなった。」 (創世記 5:24)

どうしたのでしょうか？ ああ、神が取られたんです。ブン！！彼は携挙され、もういなくなった。エノク：洪水前の教会の予型。ノアと彼の家族は、イスラエルの予型で、洪水の最中に救われます。シャドラク、メシャク、アベド・ネゴ。この話は、、、これらは全部決定的なものであるはずですが、この話で締めくくります。それでもまだ納得できないなら...「私たちが出て行く時に『だから言ったのに』って言いますよ」と言おうと思いましたが、なんせ瞬間ですから、そんな時間はないでしょう。撤回します。シャドラク、メシャク、アベド・ネゴは、燃えさかる炉に投げ込まれました。いつもの7倍も熱く燃える炉に。3.5倍ではありません。いつもより7倍熱い、燃えさかる炉です。彼らはその7倍熱く燃えさかる炉の中で、救われるのです。イスラエルが7年間の患難時代のど真ん中で救われるように。彼らが気づく時、つまり、彼らがキリストだと信じていた反キリストが荒らす忌まわしい事をする時、彼らは7年間の患難時代後半の3.5年の間、逃げ出します。私も含め、多くの人が現代のヨルダンのペトラであると信じる場所で、神がイスラエルを守られ、イスラエルの国家全体が救われ、7年間の患難時代の終わりに、彼らは主を呼び求めるのです。彼らが突き刺したお方を。そしてイエスは来られます。そして私たちは、何万もの彼女の花嫁として イエスと共に来ます。携挙では、イエスが私たちのために来られ、再臨では、イエスは私たちと共に来られると言われています。ダニエルはどこでしょうか？ダニエルはどうなったのか？彼は7倍燃えさかる炉の中にいません。ああ～炉の前に、ダニエルは高い地位に、引き上げられています。炉の前に。そしてもういません。教会の予型です。私は1つ詳細を言い忘れました。たくさん詳細があるんです。婚姻の話に戻りますが、私は『御怒りの前』の撮影中にこれを学びました。大変興味深いです。ガリラヤ地方の結婚式の伝統は、こういうものでした。花婿が夜の盗人のように来て、花嫁を誘拐し、掠め取り、奪い去る(携挙する)時、花婿の父の家に、花嫁の為に用意した場所に連れて行くのですが、彼らは花嫁を地面から持ち上げて運ぶのです。それは携挙です。ガリラヤ人にはそれが分かっていたのです。ところで、私の文化、アラブ文化では、これに深入りしすぎたくありませんが、もう遅すぎます。既に入ってしまった。私の文化、つまり中東の文化では、今日でも、結婚式というのは、ものすごく重大な事なんです。祝宴、ああ～！！そして食事～！！それは何日も続きます。彼らはそれを知っていたはずです。ガリラヤの人々は知っていたはずです。イエスが、彼らのために場所を用意しに行くと言ったとき、彼らはイエスがまさに何の事を言っているのか知っていたのです。だから、今度、誰かが「イエスは携挙について一度も教えなかった。」と言ったら、「いいえ。彼は教えました。」彼は教えたのです。さて、私はだいぶ気分が良くなりました。皆さんは？ だから私は、7年間の患難前に

携拳が起こらねばならないと信じるのです。さて、これで前述の疑問に繋がります。そうでない場合はどうなるのでしょうか？これがいよいよではなくて、携拳や7年間の患難には つながらないなら？ はい。あなたの質問に、 まず質問でお答えします。あなたが親切かつ愛情をもって、私がこのように答えることを許してくれるなら。これがいよいよだとしたら どうしますか？ そうだとしたら？ 私は、あなたが間違っていて、私が正しい場合よりも、むしろ、私が間違っていて あなたが正しければ良いと思います。何故か分かりますか？なぜなら、私は、警報を鳴らさずにいて、これで終わりになるよりも、警報を鳴らしておきたいからです。ここでいくつか私の意見を言いますから、どうかお許しください。私はたしか数週間前に こう意見を述べました。私は 安全第一で行くつもりはないと。私は全力を出します。それがどういう意味か説明します。先週、このことについて主に尋ねていたところ 主は私に教えて下さいました。安全第一という事の核心には、 自分の評判を守りたいという欲求があります。言い換えれば、私たちは皆そういう傾向があり、 誰でもそうであるように、 私にも慎重になる傾向があります。いわば首を突っ込みたくないということです。それに伴う争いや批判を恐れるから。「JD 牧師の言っていること聞いた～？ 彼はこれがいよいよだと言っている！！」「知ってるよ。でも、某氏はそうは言ってないよ。」いいでしょう。さて、誰が正しいのでしょうか？ 繰り返しますが、私はむしろ自分が間違っていて、あなたが正しく、これがいよいよでない方がいいんです！私が正しく、あなたが間違っていて、これがいよいよであるよりも！ 何が懸かっているか、という事のために。だから私は安全策を取ることができないし、私は気にしません。私はとにかく言います。今までも言ってきましたが、 これからも言い続けます。私はいよいよだと心の底から信じています。争いは、たくさんありますが、争いが起こるのは、世界統治や、ワクチン義務化に伴う AI バイオ追跡技術に関する話は何でも、陰謀論の類だと主張する人たちからです。やれやれ。さらに悪いことに、誰もが思っている以上に携拳が近いと言う者は、日付を設定していると非難されています。因みに、私は日付を設定したことはありません。これまでずっと、14年間毎週 預言アップデートをしてきましたが、日付を設定したことは決してありません。「私は近づいているという警報を 鳴らしましたか？」 「はい！」そして、それは真実です。当たり前のことを言っているようですが、週を追うごとに近づいているんです。1週間ずつ。私にここに立って、携拳が近い！と言っているうちに、私はそう言わない週が来ます。なぜなら、私はここにいないからです。 あなたもここにいない方がいいですよ。それよりさらに酷いのは、本当に私を苛立たせるもので、これについては 本当に主のもとに行かねばならなかったのですが、争いは、大患難前の携拳を 信じない人たちから生じ、彼らは、「患難前携拳を信じる人たちは、人々を迷わせている」と言います。「携拳が起こらなかったらどうするんだ？」 「あなたは偽指導者だ。」そう...敵は知っているんです。彼は私たちを研究しますよね。彼は、どこがツボか知っていて、そのツボを押すのです。それは私にとって大きなツボなんです。皆さんにバレてないはずはないですけど。ビックリしないですよ。不思議はないはず。牧師が聖書預言を教えないのも 当然です。マジですか？！皆さんが今日牧師に「なぜ聖書預言を教えないのですか？」と訊いたら、彼らの答えは、「私は、、、」「私が避けたいのは、、、」やめておきます。 やってしまうと、血圧上昇しますから。主は私を、ハバクク1章3節へ 導いて下さいました。その預言者は、主に非常に悩ましい質問をしました。

ハバクク1章

3なぜ、あなたは私に不法を見させ、苦悩を眺めておられるのですか。.....暴行と暴虐が私のそ

ばにあり、... (それで十分でないなら?) ...争い事があり、いさかいが起こっています。

そして5節で主は、預言者に答えて下さいます。

5異邦の民を見、目を留めよ。...驚き、たじろげ。...わたしは一つの事をあなたがたの時代に行うからだ。それが告げられても、あなたがたは信じない。

言い換えれば、「ハバククよ、あなたは預言者として何が起こるかを見ているのだ。」「そして、あなたが預言するとき、争い事やいさかいは起こらない。」「それは、今後も、絶対にそうなるのだ。」「しかし、世界の国々を見て観察せよ。」「かなり驚くだろう?」はい。。。「つまり、こういう事なんだ。」「たとえわたしが言ったとしても、あなたはそれを信じないだろう。」「あなたはわたしがする働きを信じないだろう。」「たとえわたしがあなたに言ったとしても、信じがたいものなのだ。」神はそう語っているのです。どうか私が、ハバククのような預言者を気取っているわけではないことをご理解ください。しかし、見張り人として、私はハバククのように感じてます。言い換えれば、聖書預言のレンズを通して、私はこの先の困難を見えています。そして、私は黙っていられません。警報を鳴らさずにいられません。皆さんの血の責任が私にあるから。しかし、争いがあり、いさかいが生じます。特に心が痛むのは、争いが起こるのは、必ずしも未信者からとは、限らないことです。それはクリスチャンからなのです。ありがたいことに、ハバククと同じように、私は諸国を見回しています。皆さんもでしょう。そして、私は見ていると神がなさっておられる御業に全く驚愕します。これが私たちの質問に繋がります。『これから先には...?』皆さんの忍耐に感謝します。もうすぐ終わります。『これから先は...?』という質問に対する答えは次のものだと思います。私たちは皆、今何をすべきか、目の前に決断を迫られています。簡単に言えば、今が私たち一人一人の、決断の時なのです。私も含めて。人類歴史のこの時点で私たちが何をすべきかについての。私たちの目の前で、聖書預言が成就するのを目の当たりにしながら。私たちの決断の時です。クリスチャンである私たちにとっては、こんな差し迫った時に、決断しなければならないことがあります。遊んでいる時間はありません。教会ごっこをする暇はありません。沈黙している暇はありません。時が近づいていて、その時が目前です。決断の時です。あなたがクリスチャンでなければ、永遠の命のために、人生で最も重要な決断せねばなりません。それを最後に少しでも説明したいと思います。私の決断に関して言えば、私は鋤に手をかけ、進み続けます。教会携挙が本当にどれほど近いかという、新たな切迫感をもって。

先週、主との時間の中で、主が私に思い出させて下さいました。良く知られた不朽の賛美歌題名「私はイエスに従うことに決めた」(従おうイエス様に)歌詞を読みたいと思います。酷なので、歌ったりはしません。もし歌ったら、皆さん来週お越しにならないでしょうから。ただこのシンプルで強力なこの賛美歌の歌詞を読ませて下さい。

「私はイエスに従うことに決めた (従おうイエスさまに) 後戻りしない、引き返さない。(後ろは見ないで) 誰も私と一緒にには行かないが、それでも私は従おう。(従おう一人でも) 後戻りしない、引き返さない。」(後ろは見ないで)そして、この最後の歌詞は、

「世に背を向け・十字架を見て (世をあとに 主を前に) 後戻りしない、引き返さない。」(後ろは見ないで) これは私の心を撃ちました。心に響きました。その意味が分かりますよね? 世に背を向け、十字架を見る。イエスは何とおっしゃいましたか? 「わたしについて来たいですか?」「わたしの弟子になりたいですか?」「自分の十字架を負いなさい。」「自らに死なねばなりません。」「あなたがわたしについて来たいなら。」しかし、世界は、あなたが

たの背後になければなりません。あなたがたが主に従いたいなら。本当のことを言えば、それが問題だと思います。それが問題です。私は...聖霊に促されたような気がします。これを見ているかもしれない牧師のために。今あなたは決断せねばなりません。私たちの目の前には、牧師として、人生の最大のチャンスがあります。私たちの人生で、今までになかったようなものです。そしてもう二度と巡って来ないと思います。畑は色づいて刈り入れるばかりになっていますが、働き手が足りません。どうするんですか？ クリスマンっぽい人たちが用の説教っぽいものに戻るんですか？それとも、聖書にこれから起こると書かれている事を語り始めますか？なぜなら、それは起こるのですから。人々は飢えています。世界中から寄せられる、メールやコメントのナンバー1は、「聖書預言を教える教会は、どこにありますか？」そして悲しいことに、私は答えることができません。

知らないからです。人々は質問を持っていて、私たちは答えを持っているのです。私たちは、私たちの内にある希望の答えをすべての人に与えねばなりません。今がその時期であり、その時刻なのです。私はあなたに懇願しています。人類歴史において、殊に教会歴史においては、今日の私たちの目の前にあるような機会が存在した事はありませんでした。これで締めくくります。イエス・キリストにある救いの福音。そして"救いのABC"という子供でもわかる簡単な救いの説明です。決して誰の知性も侮辱するつもりはありません。私はこのように終えたいのです。あなたがこれをご覧になって、私が今日話した事で、神は、今あなたの注目を得ているかもしれません。あなたがこの動画を見ているのは、偶然ではありません。私はあなたに、救われる方法を非常に単純に説明したいと思います。何から救われるのか？永遠の地獄からです。地獄は永遠で、命(天国)は永遠です。中間はありません。私たちは皆、どちらかで永遠を過ごすのです。だからこそ、永遠の命のために、あなたの人生で最も重要な決断なのです。イエス・キリストにある救いの良い知らせです。なぜなら、イエスは来られ(初臨)彼は十字架につけられ、葬られ、3日目によみがえられました。そして彼は、いつか再び戻って来られます。それが良いニュースです。「じゃあ悪いニュースは何ですか？」尋ねてください。うれしいです。そこで、救いのABCの出番です。悪いニュースは、あなたが罪びとだという事。私たちは皆、罪を犯しました。私たちは皆、生まれながらの罪びとであり、それがイエスが、私たちは天の御国に入るために、新しく生まれなければならないと語られた理由です。

A:自分が神に背いた罪びとであるのを、Admit/認める または、Acknowledge/認識する。

あなたが罪びとであり、救い主を必要としていることを認める。

ローマ人への手紙3章10節に、

「正しい者はいない。一人もない。」(ローマ人への手紙3章10節)

とあります。そして、ローマ3:23が、その理由を教えてください。

「人は皆(私たちの誰しもが)、罪を犯して神の栄光を受けられなくなっていますが、」(ローマ3:23)

ローマ6:23、他により良い言い方が見つかりませんが、先に悪いニュースが来て、それから良いニュース。それがセットになっています。私たちは皆罪を犯したので、罪に対する罰則があります。ですから私たちは皆、罪のために判決を受けるのです。それは死刑宣告。それが悪いニュースです。ローマ6:23に、

「罪が支払う報酬は死です。...」(ローマ6:23)

とあります。しかし、ここに良いニュースがあります。贈り物。贈り物は与えられるものです。

イエスが、その支払いをしました。イエスは十字架の上で、それを全額支払ってくださいました。彼の命を犠牲にして、彼にすべてを課しました。彼はその代価を支払い、私たちの一人一人に、神の贈り物を提供くださっています。それは私たちの主、キリスト・イエスにある永遠の命です。それがAです。次がBです。

B：あなたの心で、イエス・キリストが主であると心から Believe/信じる。

ローマ 10:9~10 が言うように、

「口でイエスが主であると公に言い表し、心で神がイエスを死者の中から復活させられたと信じるなら、あなたは救われるからです。」（ローマ 10：9）

最後に、C

C：主の御名を Call/呼び求める、Confess/告白する。

または、ローマ 10:9~10 が言うように、

「口でイエスが主であると公に言い表し、心で神がイエスを死者の中から復活させられたと信じるなら、あなたは救われるからです。」（ローマ 10：9）

その理由は、

「実に、人は心で信じて義とされ、口で公に言い表して救われるのです。」（ローマ 10：10）

どうやって口で告白するのか？ それはローマ 10:13 です。

「主の名を呼び求める者は誰でも救われる。」（ローマ 10：13）

ご起立ください。一緒に祈りましょう。

天のお父様、まず、あなたの教会を再開くださり、ありがとうございます。あなたの民である私たちのために。主よ、キリストの体として、私たちが共に集まらねばならない時があるとすれば、それは今です。主よ、ありがとうございます。主よ、私はまた、オンラインで見ている人、または今後見る人たちのことを感謝したいです。特に今、起ころうとしている事を非常に恐れている方々のために。彼らは、今日私が話したことを聞いて、それが理解されました。聖霊が彼らの理解を祝福して下さったからです。そして今、決断の時です。私はただ、今この瞬間に、この動画が終了する前に、彼らが彼らの口で告白し、あなたを呼び求め、心で信じ、罪を認め、罪の赦しのために 子供のような信頼をあなたに置き、救われることを祈ります。今日が彼らの救いの日になりますように。そして最後に主よ、ああなんと素晴らしい。鳥肌が立っています。マラナタ。主イエスよ、早く来てください。私たちは、あなたが来られるのを知っています。イエスの御名によって祈ります。アーメン。アーメン。神の祝福がありますように~♡

メッセージ by JD Farag 牧師カルバリーチャペルカネオヘ

<http://www.calvarychapelkaneohe.com/>

Calvary Chapel Kaneohe 47-525 Kamehameha Hwy. Kaneohe, Hawaii

筆記 hukuinn7